



JASDAQ

2021年9月10日

各 位

会社名	株式会社プロルート丸光
代表者名	代表取締役社長 森本 裕文 (コード番号: 8256 JASDAQ)
問合せ先	管理本部長 中原 秀和 (TEL 06-6262-0303)

(開示事項の経過) 医薬品卸販売業許可申請書の提出のお知らせ

当社は、2021年7月27日付「医薬品卸売業許可申請書の提出のお知らせ」で公表のとおり、2021年7月26日付で「医薬品卸販売業許可申請書」を大阪府知事宛てに提出していましたが、2021年9月13日から2027年9月12日までの有効期間における、2021年9月1日付「医薬品販売業許可証」(小規模卸)を2021年9月3日に取得しましたので、お知らせいたします。

記

1. 許可申請提出の理由

本許可申請の許諾を得たことにより、全ての医療用医薬品、要指導医薬品及び一般医薬品の販売を行うことが可能になりましたが現時点で、医薬品の販売体制や仕入体制並びに販売商品の詳細が決定しているわけではありませんので、すぐに販売ができるわけではありません。許可証を取得したものの、仕入先や販売先については現在候補先選定中であり、まだ契約締結まで至っておらず、これらに加え、実際販売を行っていくには人材の確保やその教育などの課題があり、今後、当社及び連結子会社株式会社マイクロブラッドサイエンス(以下、「MBS」)のネットワークの連携等により、仕入先や販売先の開拓を行うとともに、販売体制の構築を行ってまいります。

また、Vazyme Biotech Co., Ltdのモノクローナル抗体産生細胞株(以下、「産生細胞株」)を用いた新型コロナウイルス治療薬の開発については、MBSがパートナーとなりうる製薬企業を探したうえで決定することが大きな課題であります。当社としては、将来的に、パートナーとなる製薬企業が決定し、創薬化となった場合には、MBSと製薬企業のコネクションを利用し、その治療薬の販売可能性を検討しますが、現時点でパートナーとなる製薬企業は決定していないため、進捗はありません。

なお、2021年7月27日付「医薬品卸売業許可申請書の提出のお知らせ」で公表した「医薬品卸販売業の許可申請にあたってMBSが構築する製薬企業とのコネクションを利用して販路に入り込む」については、現時点では販売する商品計画等の策定ができていないため進捗はありませんが、本許可証の許諾を得たため早急に計画を策定するとともに、MBSより紹介等を受け、実行に移してまいります。

加えて、2021年7月27日付「医薬品卸売業許可申請書の提出のお知らせ」で公表した「当該

治療薬以外の医薬品に関してもMBSのサポートを受け今後取り扱いを広げていく方針」については、現時点では、方針自体に変更は無いものの、MBSとヴァゼム社が取扱い製品について協議中のため、進捗はありません。今後、MBSとヴァゼム社の協議が完了次第、ヴァゼム社の取扱う製品をはじめ、当社及びMBSのネットワークを活用し、ヴァゼム社以外の新型コロナウイルス関連製品の取扱いを進めてまいります。

さらに、2021年7月27日付「医薬品卸売業許可申請書の提出のお知らせ」で公表した「MBSは、実際に大手製薬企業との試薬品販売協業体制を構築した実績を買われて、ヴァゼム社以外からの製薬エージェントの持ち込みを複数受けております」については、現時点では、持ち込みはあったものの、モノクロナール抗体産生細胞株を用いた新型コロナウイルス治療薬の創薬に向けたパートナーとなる製薬企業の決定業務に注力しているため進捗はありません。

当社としては、まず販売する商品計画（販売商品、仕入先、販売先）を策定し、その後に当該計画に応じた仕入先、販売先との交渉や選定、販売に当たる人材の教育と育成、そして「医薬品の適正管理のための業務に関する手順書」に基づいた組織体制の構築や商品管理といった業務を進めるといった課題は多くあるものの、医薬品販売事業に着手していく方針であり、業態転換を含めた構造改革を進めてまいります。

なお、本許可書は、医薬品販売に関する許可書であり、当社がこれまでにしている血液検査器具や新型コロナウイルス抗体検出キットに付属するランセット等の医療機器の販売については、別途「管理医療機器販売届」を2020年4月27日に提出しております。

2. 今後の見通し

医薬品卸売業の許可を取得したものの、現時点では仕入先や販売先の開拓含め、販売体制を構築する段階にあり、当期連結業績に与える影響についてはありません。なお、業績予想の変更の必要が生じた場合には、適時に開示いたします。

以 上